

科目	外国語1			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	医療に関連する専門語句と英文読解、実際の診療場面での会話法を学習することによって医療英語の基礎を身につける。 また、医療英単語や人体の部位、疾患に関する単語を理解する。 到達目標：授業内容の理解									
内 容										
1	授業の目的	introduction	11	UNIT 6	What are your symptoms?					
2		文法総復習①	12		What are your symptoms?					
3		文法総復習②	13	UNIT7	Where dose it hurt?					
4		文法総復習③	14		Where dose it hurt?					
5		文法総復習④	15	UNIT8	Have you ever had any serious					
6	UNIT1	Please speak more slowly.	16		総復習					
7	UNIT2	Where are you from?	17		試験範囲発表及び質疑応答					
8	UNIT3	Could you tell me your address, please?	18		単位認定試験					
9	UNIT4	What department do you want to visit?								
10	UNIT 5	Where is the X-ray department?								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書	『クリスティーンのやさしい看護英会話』 知念クリスティーン 上滝真紀恵 医学書院									
				担当講師			会田 夏希			

科目	外国語2				必修	履修学年	2年	授業の方法	講義	時間数	30	
目標	<p>医療に関連する専門語句と英文読解、実際の診療場面での会話法を学習することによって医療英語の基礎を身につける。</p> <p>また、医療に関する英語のニュースや小論文等の読解技術を身につける。</p> <p>到達目標：授業内容の理解</p>											
内 容												
1	授業の目的	英文法確認テスト	11	UNIT6	You aer going to havea baby!							
2		文法応用演習①	12	UNIT7	My baby has a fever.							
3		文法応用演習②	13	UNIT8	Your surgery will be tomorrow at 10 am.							
4		文法応用演習③	14	UNIT9	How are you feeling?							
5		文法応用演習④	15	UNIT10	Are you worried about anythings?							
6	UNIT1	Do you work on the surgizal ward?	16		総復習							
7	UNIT2	What is your problem today?	17		試験範囲発表及び質疑応答							
8	UNIT3	This is the nurses` station.	18		単位認定試験							
9	UNIT4	Are you suffering from any illnesses?										
10	UNIT5	You need to have an MRI.										
評 価												
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う</p> <p>60点以上を合格とし、単位を認める</p> <p>再試験・追試験を行うことがある</p>												
教 材												
教科書 『クリスティーンのレベルアップ看護英会話』 知念クリスティーン 迫 和子 医学書院												
						担当講師	会田 夏希					

科目	物理学			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	視能訓練士に必要な光学の基礎として、反射、屈折、分散、回折、干渉、偏光、球面鏡、球面レンズなどを理解する。また、実際の光学機器の仕組みや原理を理解することで検査機器等への導入や扱い方の基本を理解する。 到達目標：授業内容の理解									
内 容										
1	授業の目的	光線としての光	11	第11章	めがね①					
2	第2章	プリズムとレンズ	12		めがね②					
3	第3章	レンズによる結像	13		望遠鏡のしくみ					
4	第4章	波としての光	14		顕微鏡のしくみ					
5	第5章	干渉	15		カメラのしくみ					
6	第6章	回折	16	まとめ	総復習					
7	第7章	偏光	17		試験範囲発表及び質疑応答					
8	第8章	屈折、分散など	18		単位認定試験					
9	第9章	散乱								
10	第10章	目の仕組みと色の見え方								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書 『光の教科書』 黒田和男、槌田博文 他著 株式会社オプトロニクス社										
				担当講師			会田 夏希			

科目	生物			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	<p>人体を理解するため、中学・高等学校の「生物基礎・生物（旧課程：生物Ⅰ・生物Ⅱ）」の内容の特に人体に関係する項目に絞り、細胞の仕組みから、遺伝、反応、恒常性についての基礎的な理解を深める。また、医療を初めて学ぶ際の生理学や解剖学の導入として基礎的な知識を身につける。</p> <p>到達目標：授業内容の理解</p>									
内 容										
1	授業の目的	生物に必要な基本の用語・単位	11	第5章	排泄や吸収のしくみ					
2	第2章	細胞のしくみ	12	第5章	内分泌系のしくみ					
3	第2章	細胞のはたらき	13	第5章	生殖のしくみ					
4	第3章	遺伝のしくみ	14	第5章	体温のしくみ					
5	第4章	刺激の伝達のしくみ	15	第5章	神経のしくみ					
6	第4章	視覚・聴覚・平衡覚・嗅覚・味覚	16	まとめ	総復習					
7	第5章	体液の恒常性	17		試験範囲発表及び質疑応答					
8	第5章	生体防御のしくみ	18		単位認定試験					
9	第5章	循環器系のしくみ								
10	第5章	呼吸器系のしくみ								
評 価										
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある</p>										
教 材										
教科書 『看護に必要な やりなおし生物化学』 時政孝行 照林社										
				担当講師			会田 夏希			

科目	情報統計			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	60
目標	医療に関する必要な情報は医療統計学的結果に基づいている。これらを統計的に正しく解釈するために、基本的な統計学の知識を学習する。 また現代社会においてPCでの文書作成等が必須である。よってofficeの知識 (word/excel/powerpoint) を実践的な課題を作成し身につける。 授業の方法：座学 到達目標：授業内容の理解									
内 容										
1	授業の目的	コンピュータ概論	11		母集団と標本、統計的手法					
2	word	基本的な文書の作成	12		記述統計					
3		ビジネス文書の作成①	13		代表値					
4		ビジネス文書の作成②	14		散布度					
5		表の作成	15		確率分布					
6	power point	プレゼンテーションのデザイン	16		データの活用					
7		パワーポイント演習①	17		試験範囲発表及び質疑応答					
8		パワーポイント演習②	18		単位認定試験					
9		パワーポイント演習③								
10	excel	データと情報・統計とは？								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書 『医療従事者のための情報リテラシー』 森由紀 日経BP社										
					担当講師	会田 夏希				

科目	倫理			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	<p>医療倫理学の基本的な知識を習得し、医療倫理や生命倫理の問題について自ら実際に考える能力を身につける。 終末期医療、生殖医療、脳死と臓器移植などのトピックスを取り上げ、命の尊さと視能訓練士として医療に携わる際、自分が行う医療行為にどんな意味があるのか、自ら考えるための知識と能力を身につける。 到達目標：授業内容の理解</p>									
内 容										
1	授業の目的	倫理学を知る	11						②守秘義務とインフォームドコン	
2	哲学思想を学ぶ	①ギリシア哲学	12						③脳死と臓器移植	
3		②宗教と中世思想	13						④安楽死と尊厳死と自殺	
4		③近代思想のめばえ	14						⑤クローンとiPS細胞	
5		④近代思想の確立	15						⑥優生思想と中絶と出生前診断	
6		⑤市民革命期の思想	16						⑦終末期医療	
7		⑥ヨーロッパ近代市民社会の倫	17						総復習	
8		⑦現代に続く近代の三思想	18						単位認定試験	
9		⑧多様な現代思想								
10	生命倫理学	①生命倫理とは？								
評 価										
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある</p>										
教 材										
各单元ごとにプリントを配布										
						担当講師	会田 夏希			

科目	教育学			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	<p>教育とはどのようなものか、教育を行う指導者に求められるものはなにか、指導者が学生に教育を行う学校とはどのようなものなのか、さらには、学校を取り巻く社会とはどのようなものなのかということに関する基礎的な内容について理解する。</p> <p>到達目標：授業内容の理解</p>									
内 容										
1	授業の目的	Introduction	11		キャリア教育					
2		教育とは何か	12		ジェンダーとセクシャリティ					
3		教育の対象	13		特別ニーズ教育とインクルーシブ					
4		社会変動と教育	14		生涯学習					
5		教授	15		シティズンシップ教育					
6		訓育	16		総復習					
7		養護・発達	17		試験範囲発表及び質疑応答					
8		学びの場	18		単位認定試験					
9		教育の目標と評価								
10		教育のメディア								
評 価										
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある</p>										
教 材										
<p>教科書 『系統看護学講座 基礎分野 教育学』 医学書院</p>										
					担当講師	会田 夏希				

科目	心理学			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	人を援助する職業に必要な人間理解の糸口となる心理学の基礎知識を学習するとともに、国家試験科目である臨床心理学の基礎となる知識も身につける。 授業の方法：座学 到達目標：授業内容の理解									
内 容										
1	授業の目的	心の仕組み	11		ストレスに関する心理学					
2		夢に関する心理学	12		嘘に関する心理学					
3		勉強に関する心理学	13		仕事に関する心理学					
4		うつに関する心理学	14		患者と接する際気を付けること①					
5		やる気に関する心理学	15		患者と接する際気を付けること②					
6		しぐさに関する心理学	16		総復習					
7		性格に関する心理学	17		小論文課題発表					
8		自分の心に関する心理学	18		単位認定試験					
9		人付き合いに関する心理学①								
10		人付き合いに関する心理学②								
評 価										
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある</p>										
教 材										
各单元ごとにプリントを配布										
					担当講師	会田 夏希				

科目	解剖生理学 I			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	<p>医療人の基礎として主に骨格筋と骨について学ぶ。体を構成する筋肉と骨との関係を学びながら 専門領域についてのより深い知識を掘り下げていく力を身につける。</p> <p>到達目標：授業内容の理解</p>									
内 容										
1	人体表面 人体の最小単位	体表区分細胞	11	下肢	股関節・膝関節足の骨					
2	組織 器官系	上皮・支持組織11器官	12	骨格筋	頭頸部の筋 表情筋					
3	運動の仕組み	運動の方向骨・関節の構造と機能	13	骨格筋	背部・胸部の筋					
4	全身の骨	頭蓋とその連結	14	骨格筋	横隔膜 腹部の筋					
5	全身の骨	副鼻腔・下顎骨式椎骨	15	骨格筋	上肢帯の筋上腕の筋前腕の屈筋手の筋					
6	椎骨	頸椎・胸椎	16	骨格筋	下肢帯の筋					
7	椎骨	腰椎・仙骨脊柱の変曲	17	骨格筋	大腿の筋下腿の伸筋・腓骨筋					
8	上肢帯 上肢の骨	鎖骨・肩甲骨上腕骨肩関節・肘関節	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	上肢帯 上肢の骨	前腕の骨手の骨								
10	下肢帯 下肢の骨	寛骨・大腿骨骨・腓骨								
評 価										
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある</p>										
教 材										
教科書 人体の構造と機能(医歯薬出版)										
					担当講師	桑原 俊男				

|

科目	解剖生理学II			必修	履修学年	2年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	<p>専門領域である眼球について学ぶ。視覚器の機能、構造を基に神経系との関わりを総合的に学んでいく。</p> <p>到達目標：授業内容の理解</p>									
内 容										
1	視器	眼瞼	11	神経系	腕神経叢					
2	"	眼瞼・開瞼・閉瞼・瞬目・疾患	12	"	腕神経叢胸神経腰神経叢					
3	"	涙器・三叉神経について	13	"	仙骨神経叢					
4	"	角膜・前房隅角	14	"	仙骨神経叢自律神経					
5	"	前房隅角・虹彩・毛様態	15	"	自律神経副交感神経伝導路					
6	"	毛様態・水晶体・硝子体	16	"	嗅覚・聴覚・皮膚感覚					
7	"	硝子体・網膜	17	"	肩・肘・手首・手・股・膝・関節の運動と関連する筋について					
8	"	網膜・網膜色素上皮・脈絡膜	18		単位認定試験					
9	"	強膜・視神経								
10	"	視神経・外眼筋								
評 価										
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある</p>										
教 材										
教科書 人体の構造と機能(医歯薬出版)										
					担当講師	桑原 俊男				

科目	解剖生理学Ⅲ			必修	履修学年	2年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	脳神経について、分泌されるホルモン、機能、構造、末梢神経との関連、反射等、人体構造を総合的、包括的に探求していく。授業の方法：座学 到達目標：授業内容の理解									
内 容										
1	腎臓	腎単位の構造と機能・血管系	11	"	仙骨神経叢					
2	人体区分	用語の訓読	12	"	脳神経の頭蓋の出口 I II III					
3	尿路	膀胱・尿道	13	"	脳神経IV V VI VII VIII					
4	分類 構造と働き	中枢神経系 末梢神経系 神経組織の構造と働き	14	"	脳神経 IX X XI XII					
5	"	神経細胞の興奮と伝導	15	"	脳神経の知覚神経V1 V2 V3					
6	中枢神経系の構造 働き	脊髄・脊柱管 延髄・橋・中脳	16	"	脳神経の知覚神経VII IX X内臓神経					
7	"	間脳・小脳大脳・新技質	17	"	自律神経脳神経の副交感神経VII IX X					
8	" 末梢神経	脳波・伝導路 頸神経叢	18		単位認定試験					
9	"	頸神経叢 胸神経								
10	末梢神経	胸神経腰神経叢 仙骨神経叢								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う										
60点以上を合格とし、単位を認める										
再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書 人体の構造と機能(医歯薬出版)										
					担当講師	桑原 俊男				

|

科目	解剖生理学実習			必修	履修学年	2年	授業の方法	実習	時間数	30
目標	<p>視器の解剖を中心に行う。事前知識としてこれまで学んだ解剖をおさらいして、最終日には実際の眼球を解剖する。メスやピンセットの取り扱いについても学ぶ。</p> <p>到達目標：授業内容の理解</p>									
内 容										
1	視器	眼瞼	11	"	レンズ調節	輻輳				
2	"	眼瞼・開瞼・閉瞼・瞬目・疾患	12	骨系 神経系	副鼻腔	神経系の大体				
3	"	涙器・三叉神経について	13	神経系	腰神経叢	仙骨神経叢				
4	"	角膜・前房隅角	14	"	自律神経系					
5	"	前房隅角・虹彩・毛様態	15	体表解剖	体表解剖					
6	"	毛様態・水晶体・硝子体	16	関節	関節の運動					
7	"	硝子体・網膜	17	実習	標本の利用					
8	"	網膜・網膜色素上皮・脈絡膜	18		単位認定試験					
9	"	強膜・視神経								
10	視器	視神経・外眼筋								
評 価										
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う</p> <p>60点以上を合格とし、単位を認める</p> <p>再試験・追試験を行うことがある</p>										
教 材										
教科書 人体の構造と機能(医歯薬出版)										
					担当講師	桑原 俊男				

科目	基礎医学大要 I			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	臨床に必要な知識として、眼球の基本的な解剖を理解する。 到達目標：眼球の構造を理解する。									
内 容										
1 授業の目的	オリエンテーション		11 眼球付属器	涙器						
2 眼球	角膜		12 眼球付属器	外眼筋						
3 眼球	強膜		13 眼球付属器	視神経						
4 眼球	ぶどう膜		14 眼球付属器	血管 1						
5 眼球	網膜		15 眼球付属器	血管 2						
6 眼球	水晶体		16 眼球付属器	血管 3						
7 眼球	硝子体		17 まとめ	まとめ						
8 眼球	隅角		18 テスト	単位認定試験						
9 眼球付属器	眼瞼									
10 眼球付属器	結膜									
評 価										
<input type="checkbox"/> 出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある <input type="checkbox"/>										
教 材										
教科書 「視能学 第二版」 文光堂刊 ほか										
						担当講師	松浦 理恵			

科目	基礎医学大要Ⅱ		必修	履修学年	2年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	<p>人体の基礎的な構造を基に、現代病とも呼ばれる精神疾患についてその特徴および傾向、治療方法を学んでいく。脳の構造と機能が心理に及ぼす影響を考察していく。</p> <p>到達目標：授業内容の理解</p>								
内 容									
1	授業の目的	臨床心理学の必要性	11	実例学習Ⅲ	"				
2	臨床心理学Ⅰ	臨床心理学の実際	12	"	人格障害の実際例				
3	臨床心理学Ⅱ	実験心理学(主に米国のケース)	13	"	人格障害の実際例				
4	事例学習Ⅰ	"	14	実例学習Ⅳ	実際に起こった事件から				
5	"	実験心理学のまとめ	15	"	"				
6	"	うつ病の実態	16	"	"				
7	事例学習Ⅱ	総合失調症の実態	17	視能訓練士と心理学	臨床における実際				
8	"	ストレスとは何か	18	単位認定試験	単位認定試験				
9	"	"							
10	"	人格障害とは							
評 価									
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある</p>									
教 材									
教科書 人体の構造と機能(医歯薬出版), 心理学の基礎知識(有斐閣ブックス)									
				担当講師			桑原 俊男		

科目	基礎医学大要Ⅲ			必修	履修学年	2年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	総合的な問題演習を行う。 到達目標：国家試験レベルの知識の取得を目指す。									
内 容										
1	ガイダンス	授業ガイダンス	11	問題演習	国家試験問題演習－10					
2	問題演習	国家試験問題演習－1	12	問題演習	国家試験問題演習－11					
3	問題演習	国家試験問題演習－2	13	問題演習	国家試験問題演習－12					
4	問題演習	国家試験問題演習－3	14	問題演習	国家試験問題演習－13					
5	問題演習	国家試験問題演習－4	15	問題演習	国家試験問題演習－14					
6	問題演習	国家試験問題演習－5	16	問題演習	国家試験問題演習－15					
7	問題演習	国家試験問題演習－6	17	問題演習	国家試験問題演習－16					
8	問題演習	国家試験問題演習－7	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	問題演習	国家試験問題演習－8								
10	問題演習	国家試験問題演習－9								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書：視能学第二版（文光堂）										
				担当講師	大原 秀徳					

科目	看護学概論 I			必修	履修学年	2年	授業 方法 の	講義	時間 数	30
目 標	看護の基本的な原理について学ぶ。 到達目標：授業内容の理解									
内 容										
1	ガイダンス	看護学概論 I で何を学ぶかを知る	11	援助技術3清潔	清潔習慣とその援助技術を学ぶ					
2	看護技術とは	看護技術とは何かを学ぶ	12	援助技術4排泄	排泄のメカニズムとその援助技術を学ぶ					
3	接遇	コミュニケーションについて	13	援助技術5移動	体位変換と移動、移乗の援助技術を学ぶ					
4	看護技術	看護課程とアセスメントを学ぶ	14	援助技術6睡眠	睡眠のメカニズムとその援助技術を学ぶ					
5	看護計画	看護の課程と看護計画の作成を学ぶ	15	看護技術1与薬	与薬法とその注意点について学ぶ					
6	看護記録	看護記録についてと記録の方法を学ぶ	16	看護技術2気道吸	気道吸引と罨法について学ぶ					
7	感染予防	感染予防の知識と実践について学ぶ	17	看護技術3褥瘡	褥瘡とその発生を予防する技術を学ぶ					
8	ターミナルケア	死へのプロセスと危篤時の看護	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	援助技術	安全で快適な環境づくりについて学ぶ								
10	援助技術	食事と援助技術について学ぶ								
評 価										
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある</p>										
教 材										
教科書: 看護学概論 (医学書院)										
				担当講師		桑原 俊男				

科目	看護学概論Ⅱ			必修	履修学年	2年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	眼科で用いられる薬剤について学ぶ。 到達目標：薬理学の知識を総合的に理解する。									
内 容										
1	ガイダンス	授業ガイダンス	11	薬理学	交感神経刺激薬 2					
2	薬理学	薬機法と薬の種類、用語の理解	12	薬理学	その他の薬剤（角膜保護、ステロイド、抗菌剤）					
3	薬理学	プロドラッグとDDS	13	薬理学	Horner症候群における点眼試験					
4	薬理学	徐神経性過敏とタキフィラキシー	14	薬理学	問題演習					
5	薬理学	点眼剤と防腐剤、点眼時の注意点	15	薬理学	問題演習					
6	薬理学	副交感神経系の薬剤	16	薬理学	問題演習					
7	薬理学	交感神経系の薬剤	17	薬理学	これまでのまとめ					
8	薬理学	副交感神経刺激薬1	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	薬理学	副交感神経遮断薬2								
10	薬理学	交感神経刺激薬 1								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書：視能学第二版（文光堂）、点眼薬クリニカルブック（金原出版）										
				担当講師		大原 秀徳				

科目	視覚機能学 1		必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	<p>視覚機能とは何か、感覚とは何かをもとに検査で重要な視覚機能について重点的に学んでいく。本講義はより身近な感覚である色や光について学ぶため、体感的に学ぶことを目標とする。</p> <p>到達目標：視覚機能について理解する</p>								
内 容									
1	ガイダンス	この授業について	11	視覚機能	光覚				
2	視覚機能	視器の構造	12	視覚機能	視野				
3	視覚機能	感覚	13	視覚機能	視野				
4	視覚機能	視覚機能の種類	14	視覚機能	視野				
5	視覚機能	視覚機能と中枢	15	視覚機能	視野				
6	視覚機能	色覚	16	視覚機能	これまでのまとめ				
7	視覚機能	色覚	17	視覚機能	総合問題演習				
8	視覚機能	色覚	18	単位認定試験	単位認定試験				
9	視覚機能	光覚							
10	視覚機能	光覚							
評 価									
<p>定期試験成績に出席率・授業態度などを加味して評価する。</p>									
教 材									
<p>教科書：視能学第二版（文光堂）</p>									
				担当講師			大原 秀徳		

科目	視覚機能学Ⅱ			必修	履修学年	2年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	画像解析装置を用いた検査について学ぶ。 到達目標：機器の使い方を理解する									
内 容										
1	ガイダンス	この授業について	11	画像解析装置	OCTの原理					
2	画像解析装置	眼科写真術 1	12	画像解析装置	OCT撮影 1					
3	画像解析装置	眼科写真術 2	13	画像解析装置	OCT撮影 2					
4	画像解析装置	眼科写真術 3	14	画像解析装置	OCT撮影 3					
5	画像解析装置	眼科写真術 4	15	画像解析装置	OCT撮影 4					
6	画像解析装置	造影剤の種類	16	画像解析装置	これまでのまとめ					
7	画像解析装置	造影検査 1	17	総合問題演習	総合問題演習					
8	画像解析装置	造影検査 2	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	画像解析装置	造影検査 3								
10	画像解析装置	造影検査 4								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書：視能学第二版（文光堂）										
				担当講師		大原 秀徳				

科目	視覚機能学Ⅲ			必修	履修学年	2年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	瞳孔反応、眼振、調節機能など神経眼科を総合的に学ぶ。 到達目標：神経眼科の理解									
内 容										
1	ガイダンス	この授業について	11	神経眼科	瞳孔反応 2					
2	神経眼科	神経眼科とは	12	神経眼科	調節と輻湊の関係 1					
3	神経眼科	生理的眼振	13	神経眼科	調節と輻湊の関係 2					
4	神経眼科	先天眼振と病的眼振	14	神経眼科	瞳孔反応の検査機器					
5	神経眼科	先天眼振の特徴と治療法	15	神経眼科	これまでのまとめ					
6	神経眼科	病的後天性眼振	16	神経眼科	これまでのまとめ					
7	神経眼科	対光反射 1	17	神経眼科	総合問題演習					
8	神経眼科	対光反射 2	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	神経眼科	対光反射 3								
10	神経眼科	瞳孔反応 1								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書：視能学第二版（文光堂）										
				担当講師	大原 秀徳					

科目	視覚機能検査機器学Ⅰ			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	<p>機器を用いた眼科検査の基礎を学ぶ。内容は実習に直結しており、臨床現場での応用を含めた総合的な知識の確立を目指す。</p> <p>到達目標：眼科検査の理解</p>									
内 容										
1	ガイダンス	この授業について	11	眼科検査	角膜形状解析					
2	眼科検査	眼瞼の検査	12	眼科検査	角膜内皮検査					
3	眼科検査	眼球突出の検査	13	眼科検査	スリットランプ					
4	眼科検査	涙液検査	14	眼科検査	隅角検査					
5	眼科検査	涙液検査	15	眼科検査	眼科検査補助診断					
6	眼科検査	涙液検査	16	眼科検査	これまでのまとめ					
7	眼科検査	眼圧検査	17	眼科検査	総合問題演習					
8	眼科検査	眼圧検査	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	眼科検査	眼圧検査								
10	眼科検査	眼圧検査								
評 価										
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う</p> <p>60点以上を合格とし、単位を認める</p> <p>再試験・追試験を行うことがある</p>										
教 材										
教科書: 視能学第二版(文光堂)										
				担当講師		大原 秀徳				

科目	視覚機能検査機器学 2		必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	両眼視機能について学ぶ。ヒトは2つの眼で外界の物体を立体的に見ているが、どちらかの眼が障害されると途端に立体感を失う。両眼視機能の基礎を学ぶことで、見え方に異常をきたす原因の探索を目指す。 授業の方法：座学 到達目標：両眼視機能について理解する								
内 容									
1	ガイダンス	この授業について	11	両眼視	複視				
2	両眼視	両眼視	12	両眼視	網膜対応				
3	両眼視	両眼視の種類	13	両眼視	正常網膜対応				
4	両眼視	両眼視の成立条件	14	両眼視	網膜対応異常				
5	両眼視	融像	15	両眼視	立体視				
6	両眼視	立体視	16	両眼視	これまでのまとめ				
7	両眼視	眼位	17	両眼視	総合問題演習				
8	両眼視	眼位とその種類	18	単位認定試験	単位認定試験				
9	両眼視	眼位の異常							
10	両眼視	両眼視の異常							
評 価									
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある									
教 材									
教科書：視能学第二版（文光堂）									
				担当講師			大原 秀徳		

科目	保健医療福祉学 I			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	<p>医療人として必要な関係法規、本邦を取り巻く医療の現状および世界の医療制度を比較検討しながら、今後求められる医療制度について学んでいく。</p> <p>到達目標：授業内容の理解</p>									
内 容										
1	授業の目的	日本の健康医療の実際を知る	11	歴史を学ぶⅡ	日本の保険制度の問題点と将来					
2	日本の保健と医療Ⅱ	何を学ぶのかを明確に把握する	12	制度を知るⅧ	労働者のほ保障制度					
3	制度を知るⅠ	日本の保険制度	13	制度を知るⅨ	生活保護制度について					
4	制度を知るⅡ	各国の医療保険制度	14	ディベートⅠ	テーマ①ワーキングプアはなくせるか					
5	制度を知るⅢ	介護保険制度	15	ディベートⅡ	テーマ②生活保護は平等か					
6	制度を知るⅣ	高齢化問題と介護	16	ディベートⅢ	医療と介護の融合は可能か					
7	制度を知るⅤ	世界の高齢化問題	17	まとめ	日本の社会保障制度の今後を考える					
8	制度を知るⅥ	日本の年金制度	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	制度を知るⅦ	世界の年金制度								
10	歴史を学ぶⅠ	日本の保険制度の成立								
評 価										
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある</p>										
教 材										
教科書: 公衆衛生(医学書院)										
					担当講師	桑原 俊男				

科目	保健医療福祉学Ⅱ			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	医療制度や感染症についてケーススタディを交え、討論、ディベート力を養う。臨床現場で働くにあたり必要な医療の基礎を学ぶ。授業の方法：座学 到達目標：授業内容の理解									
内 容										
1	授業の目的	公衆衛生学の歴史	11	ケーススタディⅣ	精神病対策					
2	公衆衛生学全般	公衆衛生の医療	12	ケーススタディⅤ	介護について知る					
3	公衆衛生学全般	人口動態とは	13	ケーススタディⅤ	日本の介護・福祉について学ぶ					
4	ケーススタディⅠ	健康指標とは	14	ディベートⅠ	人口問題「外国人労働者受入」					
5	ケーススタディⅠ	健康指標の国際比較を知る	15	ディベートⅡ	少子化問題「少子化対策の有効性」					
6	ケーススタディⅠ	感染症とは	16	ディベートⅢ	感染症対策「過去の事例から」					
7	ケーススタディⅡ	感染症の歴史とこれから	17	まとめ	公衆衛生学の将来性					
8	ケーススタディⅡ	生活習慣病を知る	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	ケーススタディⅢ	生活習慣病(癌)を知る								
10	ケーススタディⅢ	難病対策								
評 価										
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある</p>										
教 材										
教科書: 公衆衛生(医学書院)										
					担当講師	桑原 俊男				

科目	リハビリテーション医学		必修	履修学年	1年	授業の方法	講義
目	医療人として必要なリハビリテーションの基礎知識を中心に医療安全対策、関係法規について学ん						
内 容							
1	ガイダンス	リハビリテーションの定義	11	関係法規	医療安全対策		
2	リハビリの概念	WHOによる健康の定義	12	救急救命	救急救命(1)		
3	リハビリの概念	障害とは、障害の定義	13	救急救命	救急救命(2)		
4	リハビリの概念	障害分類(1)	14	接遇	医療面接(1)		
5	リハビリの概念	障害分類(2)	15	接遇	医療面接(2)		
6	リハビリの概念	障害者と障害者手帳	16	総合	まとめ		
7	リハビリの概念	バリアフリーとノーマライゼーション(1)	17	総合	まとめ		
8	リハビリの概念	バリアフリーとノーマライゼーション(2)	18	単位認定試験	単位認定試験		
9	関係法規	関係法規(1)					
10	関係法規	関係法規(2)					
評 価							
定期試験成績に出席率・授業態度などを加味して評価する。							
教 材							
教科書:リハビリテーション医学(南江堂)、視能学第二版(文光堂)							
				担当講師	大原 秀徳		

科目	視能矯正学 1			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	60
目標	<p>生理光学について学ぶ。生理光学はレンズによる屈折矯正のすべての基本であるが計算が中心となるため難解なものになりやすい。そのため本授業では出来るだけ実践的な使える知識の取得を目指す。 到達目標：眼光学の理解</p>									
内 容										
1	ガイダンス	この授業について	11	眼光学	レンズによる物体の位置					
2	眼光学	光とは	12	眼光学	屈折異常の種類					
3	眼光学	光の屈折	13	眼光学	レンズ矯正					
4	眼光学	屈折の法則	14	眼光学	頂間距離による矯正度数の変化					
5	眼光学	屈折率	15	眼光学	調節					
6	眼光学	物体の屈折率とその計算	16	眼光学	調節力の計算					
7	眼光学	レンズの種類	17	眼光学	総合問題演習					
8	眼光学	レンズによる光の屈折	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	眼光学	Vergenceの概念								
10	眼光学	Vergenceの計算								
評 価										
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある</p>										
教 材										
教科書: 視能学第二版(文光堂)										
				担当講師			大原 秀徳			

科目	視能矯正学Ⅱ			必修	履修学年	2年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	眼科特殊検査について学ぶ。 到達目標：検査技術の取得を目指す。									
内 容										
1	ガイダンス	この授業について	11	眼科検査	直像鏡検査					
2	眼科検査	検影法 1	12	眼科検査	色覚検査 1					
3	眼科検査	検影法 2	13	眼科検査	色覚検査 2					
4	眼科検査	検影法 3	14	眼科検査	CFF検査 1					
5	眼科検査	検影法 4	15	眼科検査	CFF検査 2					
6	眼科検査	固視検査 1	16	眼科検査	これまでのまとめ					
7	眼科検査	固視検査 2	17	眼科検査	総合問題演習					
8	眼科検査	固視検査 3	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	眼科検査	固視検査 4								
10	眼科検査	倒像鏡検査								
評 価										
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある</p>										
教 材										
教科書：視能学第二版（文光堂）										
				担当講師	大原 秀徳					

科目	視能矯正学特論			必修	履修学年	3年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	国家試験と就職を目前にひかえ、臨床に必要な知識として、視能訓練技術の総合的な理解を深める。 到達目標:国家試験合格									
内 容										
1 授業の目的	国家試験について			11 試験問題演習	国家試験過去問演習		1 0			
2 試験問題演習	国家試験過去問演習 1			12 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 1			
3 試験問題演習	国家試験過去問演習 2			13 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 2			
4 試験問題演習	国家試験過去問演習 3			14 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 3			
5 試験問題演習	国家試験過去問演習 4			15 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 4			
6 試験問題演習	国家試験過去問演習 5			16 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 5			
7 試験問題演習	国家試験過去問演習 6			17 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 6			
8 試験問題演習	国家試験過去問演習 7			18 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 7			
9 試験問題演習	国家試験過去問演習 8									
10 試験問題演習	国家試験過去問演習 9									
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書 「視能学 第二版」文光堂刊 ほか										
					担当講師	松浦 理恵				

科目	視能矯正学実習 I			必修	履修学年	1年	授業の方法	実習	時間数	30
目標	<p>臨床に必要な技術として、視力測定、乱視判定の検査方法の基本を、眼科クリニックに勤務経験のある教員が実務的な経験に基づき指導し、習得させる。 到達目標: レンズメーターやクロスシリンダーを使えるようになる</p>									
内 容										
1 眼科検査実習	グループ別シミュレーション実習	11 視力9	視力測定、クロスシリンダーによる乱視判定 9							
2 レンズメーター	レンズメーターの使用	12 視力10	視力測定、クロスシリンダーによる乱視判定 10							
3 視力1	視力測定、クロスシリンダーによる乱視判定 1	13 視力11	視力測定、クロスシリンダーによる乱視判定 11							
4 視力2	視力測定、クロスシリンダーによる乱視判定 2	14 視力12	視力測定、クロスシリンダーによる乱視判定 12							
5 視力3	視力測定、クロスシリンダーによる乱視判定 3	15 視力13	視力測定、クロスシリンダーによる乱視判定 13							
6 視力4	視力測定、クロスシリンダーによる乱視判定 4	16 視力14	視力測定、クロスシリンダーによる乱視判定 14							
7 視力5	視力測定、クロスシリンダーによる乱視判定 5	17 総合	まとめ							
8 視力6	視力測定、クロスシリンダーによる乱視判定 6	18 テスト	前期試験							
9 視力7	視力測定、クロスシリンダーによる乱視判定 7									
10 視力8	視力測定、クロスシリンダーによる乱視判定 8									
評 価										
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある</p>										
教 材										
<p>教科書 「視能学 第二版」文光堂刊 ほか</p>										
担当講師						松浦 理恵				

科目	視能矯正学実習Ⅱ			必修	履修学年	2	授業の方法	実習	時間数	60	
目標	臨床に必要な技術として、視力測定、乱視判定、視野測定の検査方法を、眼科クリニックに勤務経験のある教員が実務的な経験に基づき指導し、習得させる 到達目標: 視力を測定し視野や乱視を検査測定できるようになる										
内 容											
1 眼科検査実習	グループ別シミュレーション実習	19 眼科検査実習	グループ別シミュレーション実習	20 視野検査1	HFA、GPの使用方法および理論1	21 視野検査2	HFA、GPの使用方法および理論2	22 視野検査3	HFA、GPの使用方法および理論3	23 視野検査4	HFA、GPの使用方法および理論4
2 レンズメーター	レンズメーターの使用	24 視野検査5	HFA、GPの使用方法および理論5	25 視野検査6	HFA、GPの使用方法および理論6	26 視野検査7	HFA、GPの使用方法および理論7	27 視野検査8	HFA、GPの使用方法および理論8	28 視野検査9	HFA、GPの使用方法および理論9
3 視力1	視力測定、クロスシリンダーによる乱視決定1	29 視野検査10	HFA、GPの使用方法および理論10	30 電気生理検査1	ERG、EOG、VEPの理論、方法1	31 電気生理検査2	ERG、EOG、VEPの理論、方法2	32 電気生理検査3	ERG、EOG、VEPの理論、方法3	33 電気生理検査4	ERG、EOG、VEPの理論、方法4
4 視力2	視力測定、クロスシリンダーによる乱視決定2	34 電気生理検査5	ERG、EOG、VEPの理論、方法5	35 総合	まとめ	36 テスト	後期試験				
5 視力3	視力測定、クロスシリンダーによる乱視決定3										
6 視力4	視力測定、クロスシリンダーによる乱視決定4										
7 視力5	視力測定、クロスシリンダーによる乱視決定5										
8 視力6	視力測定、クロスシリンダーによる乱視決定6										
9 視力7	視力測定、クロスシリンダーによる乱視決定7										
10 視力8	視力測定、クロスシリンダーによる乱視決定8										
11 視力9	視力測定、クロスシリンダーによる乱視決定9										
12 視力10	視力測定、クロスシリンダーによる乱視決定10										
13 視力11	視力測定、クロスシリンダーによる乱視決定11										
14 視力12	視力測定、クロスシリンダーによる乱視決定12										
15 視力13	視力測定、クロスシリンダーによる乱視決定13										
16 視力14	視力測定、クロスシリンダーによる乱視決定14										
17 総合	まとめ										
18 テスト	前期試験										
評 価											
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある											
教 材											
教科書 「視能学 第二版」文光堂刊 ほか											
担当講師						松浦 理恵					

科目	視能矯正学実習総合			必修	履修学年	3年	授業の方法	実習	時間数	60	
目標	臨床に必要な技術として、病院実習にむけて総合復習を行う。毎回の範囲は実習科目内容全般にわたり、グループ実習による問題発見と質疑応答を重視して、実務的な経験に基づき指導する。授業の方法:実習 到達目標:臨床現場で対応できる技能の取得										
内 容											
1 グループ実習	この授業の進め方	11 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査	2 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査	12 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査	3 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査	13 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査
4 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査	14 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査	5 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査	15 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査	6 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査	16 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査
7 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査	17 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査	8 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査	18 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査	9 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査		
10 グループ実習	視力、視野、斜視検査、両眼視機能検査、その他眼科一般検査										
評 価											
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある											
教 材											
教科書 「視能学 第二版」文光堂刊 「視能検査学」医学書院刊 ほか											
						担当講師	松浦 理恵				

科目	視能検査学 1			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義
目標	<p>視能訓練士として最も重要な視力検査について、視力とは何かまたその算出方法などを学ぶ。繰り返すことで視力を算術的に捉える力を得ることを目標とする。</p> <p>到達目標：医療の基礎および視力の算出方法</p>							
内 容								
1	ガイダンス	この授業について	11	視力検査	logMAR値			
2	基礎	医療の基礎	12	視力検査	問題演習			
3	基礎	医療の基礎	13	視力検査	その他の視力			
4	視力検査	視力について	14	視力検査	乳幼児の視力発達			
5	視力検査	形態覚の種類	15	視力検査	乳幼児の視力検査			
6	視力検査	ランドルト環の仕組み	16	視力検査	乳幼児の視力検査			
7	視力検査	視角と視力	17	視力検査	これまでのまとめ			
8	視力検査	視力の計算	18	単位認定試験	単位認定試験			
9	視力検査	総合問題演習						
10	視力検査	logMAR値						
評 価								
<p>定期試験成績に出席率・授業態度などを加味して評価する。</p>								
教 材								
<p>教科書：視能学第二版(文光堂)</p>								
				担当講師		大原 秀徳		

科目	視能検査学Ⅱ			必修	履修学年	2年	授業の方法	講義	時間数	60
目標	眼科機器を用いた電気生理検査について学ぶ。 到達目標：電気生理検査について理解を深める									
内 容										
1	ガイダンス	この授業について	11	検査機器	視覚誘発電位					
2	検査機器	電気生理検査	12	検査機器	視覚誘発電位					
3	検査機器	網膜電図	13	検査機器	波形の考察					
4	検査機器	網膜電図	14	検査機器	波形の考察					
5	検査機器	網膜電図	15	検査機器	これまでのまとめ					
6	検査機器	眼球電図	16	検査機器	これまでのまとめ					
7	検査機器	眼球電図	17	検査機器	総合問題演習					
8	検査機器	眼球電図	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	検査機器	視覚誘発電位								
10	検査機器	視覚誘発電位								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書：視能学第二版（文光堂）										
				担当講師		大原 秀徳				

科目	視能検査学特論			必修	履修学年	3年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	国家試験と就職を目前にひかえ、臨床に必要な知識として、視能訓練技術の総合的な理解を深める。 授業の方法:座学 到達目標:国家試験合格									
内 容										
1 授業の目的	国家試験について			11 試験問題演習	国家試験過去問演習		1 0			
2 試験問題演習	国家試験過去問演習 1			12 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 1			
3 試験問題演習	国家試験過去問演習 2			13 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 2			
4 試験問題演習	国家試験過去問演習 3			14 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 3			
5 試験問題演習	国家試験過去問演習 4			15 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 4			
6 試験問題演習	国家試験過去問演習 5			16 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 5			
7 試験問題演習	国家試験過去問演習 6			17 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 6			
8 試験問題演習	国家試験過去問演習 7			18 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 7			
9 試験問題演習	国家試験過去問演習 8									
10 試験問題演習	国家試験過去問演習 9									
評 価										
教 材										
教科書 「視能学 第二版」文光堂刊 ほか										
					担当講師	大原 秀徳				

科目	視能検査学実習 I		必修	履修学年	1年	授業の方法	実習	時間数	30
目標	<p>臨床に必要な技術として、眼科検査に使う機器類の操作方法の基本を、眼科クリニックでの勤務を経験している教員が実務的な経験を活かし指導して習得させる。 到達目標: 検影法や超音波を使いこなせるようになる</p>								
内 容									
1 オリエンテーション	この授業の進め方	11 眼科検査	9	超音波Bモード	2				
2 レンズメーター	レンズメーターの使用	12 眼科検査	10	ビズスコープ	1				
3 眼科検査 1	検影法 1	13 眼科検査	11	ビズスコープ	2				
4 眼科検査 2	検影法 2	14 眼科検査	12	ロールプレイ	1				
5 眼科検査 3	検影法 3	15 眼科検査	13	ロールプレイ	2				
6 眼科検査 4	三杆法、調節検査 1	16 眼科検査	14	ロールプレイ	3				
7 眼科検査 5	三杆法、調節検査 2	17 総合		まとめ					
8 眼科検査 6	フリッカー融合頻度 1	18 テスト		前期試験					
9 眼科検査 7	フリッカー融合頻度 2								
10 眼科検査 8	超音波Bモード 1								
評 価									
<p>出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある</p>									
教 材									
<p>教科書 「視能学 第二版」文光堂刊 「視能検査学」医学書院刊 ほか</p>									
担当講師					松浦 理恵				

科目	視能検査学実習Ⅱ			必修	履修学年	2年	授業の方法	実習	時間数	60
目標	特殊検査実習を行う。 到達目標：眼科検査技術の取得									
内 容										
1	ガイダンス	この授業について	11	眼科検査	レンズメーター 3					
2	眼科検査	両眼視機能検査	12	眼科検査	シノプト 1					
3	眼科検査	バゴリーニ線条レンズ検査1	13	眼科検査	シノプト 2					
4	眼科検査	バゴリーニ線条レンズ検査2	14	眼科検査	シノプト 3					
5	眼科検査	バゴリーニ線条レンズ検査3	15	眼科検査	シノプト 4					
6	眼科検査	残像検査・残像ひきとり検査1	16	眼科検査	これまでのまとめ					
7	眼科検査	残像検査・残像ひきとり検査2	17	眼科検査	総合実習					
8	眼科検査	残像検査・残像ひきとり検査3	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	眼科検査	レンズメーター 1								
10	眼科検査	レンズメーター 2								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書：視能学第二版（文光堂）										
				担当講師	大原 秀徳					

科目	視能検査学実習総合			必修	履修学年	3年	授業の方法	実習	時間数	30
目標	臨床に必要な技術として、病院実習を想定した総合復習を行う。毎回の範囲は実務経験に基づいて、重要な検査項目を主体に技術を高めるよう指導する。授業の方法:実習 到達目標:臨床現場で対応できる技能の取得									
内 容										
1 病院実習模擬演習	この授業の進め方	11 病院実習模擬演習	シノプト 大型弱視鏡の基本的な使い方 1							
2 病院実習模擬演習	ヒルシュベルグ法から眼球運動、NPCまで、一連の流れ	12 病院実習模擬演習	シノプト 大型弱視鏡の基本的な使い方 2							
3 病院実習模擬演習	両眼視機能検査 代表的な立体視検査、TST,TNOなど	13 病院実習模擬演習	シノプト 大型弱視鏡の基本的な使い方 3							
4 病院実習模擬演習	両眼視機能検査 残像ひきとり検査、バゴリーニなど	14 病院実習模擬演習	シノプト 大型弱視鏡の基本的な使い方 4							
5 病院実習模擬演習	両眼視機能検査 Worth4灯	15 病院実習模擬演習	シノプト 大型弱視鏡の基本的な使い方 5							
6 病院実習模擬演習	斜視検査 プリズムの使い方、CT,PCT,APCTなど	16 病院実習模擬演習	シノプト 大型弱視鏡の基本的な使い方 6							
7 病院実習模擬演習	プリズムによる斜視検査、near,farにて定量	17 テスト	総合テスト 1							
8 病院実習模擬演習	斜視検査 プリズム定量、AC/A比の概念、問題演習	18 テスト	総合テスト 2							
9 病院実習模擬演習	斜視検査 4Δ 基底外方試験、プリズム定量									
10 病院実習模擬演習	斜視検査 プリズム定量									
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書 「視能学 第二版」文光堂刊 「視能検査学」医学書院刊 ほか										
						担当講師	大原 秀徳			

科目	視能障害学 I			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	視能訓練士として必要な眼科の基本的な眼科疾患を学ぶ。疾病の知識をもとにスムーズな眼科検査へのアプローチを目的とする。 到達目標：疾病の基本的な理解									
内 容										
1	ガイダンス	授業ガイダンス	11	眼病理・眼疾病	網膜疾患					
2	眼病理・眼疾病	アレルギーと免疫	12	眼病理・眼疾病	小児疾患					
3	眼病理・眼疾病	アレルギーと免疫	13	眼病理・眼疾病	眼外傷					
4	眼病理・眼疾病	遺伝	14	眼病理・眼疾病	ぶどう膜疾患					
5	眼病理・眼疾病	循環障害	15	眼病理・眼疾病	全身疾患					
6	眼病理・眼疾病	眼瞼疾患	16	眼病理・眼疾病	これまでのまとめ					
7	眼病理・眼疾病	結膜疾患	17	眼病理・眼疾病	これまでのまとめ					
8	眼病理・眼疾病	涙器疾患	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	眼病理・眼疾病	角膜疾患								
10	眼病理・眼疾病	強膜疾患								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書: 視能学第二版(文光堂)										
				担当講師		大原 秀徳				

科目	視能障害学Ⅱ			必修	履修学年	2年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	斜視について学ぶ。内斜視・外斜視など基本的な斜視について総合的に学ぶ。 到達目標：斜視の各型を理解する									
内 容										
1	ガイダンス	この授業について	11	斜視	外斜視の種類（3）					
2	斜視	斜視とは	12	斜視	外斜視の種類（4）					
3	斜視	斜視の概念	13	斜視	外斜視の種類（5）					
4	斜視	内斜視の種類（1）	14	斜視	上斜視					
5	斜視	内斜視の種類（2）	15	斜視	その他の斜視					
6	斜視	内斜視の種類（3）	16	斜視	これまでのまとめ					
7	斜視	内斜視の種類（4）	17	斜視	総合問題演習					
8	斜視	内斜視の種類（5）	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	斜視	外斜視の種類（1）								
10	斜視	外斜視の種類（2）								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書：リハビリテーション医学（南江堂）、視能学第二版（文光堂）										
				担当講師			大原 秀徳			

科目	視能障害学Ⅲ			必修	履修学年	2年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	1年次に学んだ基礎疾患をもとに糖尿病網膜症、緑内障などの全身疾患を深く学ぶ。 到達目標：眼科疾患を深く理解する									
内 容										
1	ガイダンス	授業ガイダンス	11	眼病理・眼疾病	視神経炎（3）					
2	眼病理・眼疾病	糖尿病（1）	12	眼病理・眼疾病	高血圧（1）					
3	眼病理・眼疾病	糖尿病（2）	13	眼病理・眼疾病	高血圧（2）					
4	眼病理・眼疾病	糖尿病（3）	14	眼病理・眼疾病	加齢黄斑変性（1）					
5	眼病理・眼疾病	糖尿病（4）	15	眼病理・眼疾病	加齢黄斑変性（2）					
6	眼病理・眼疾病	緑内障（1）	16	眼病理・眼疾病	その他の全身疾患					
7	眼病理・眼疾病	緑内障（2）	17	眼病理・眼疾病	その他の全身疾患					
8	眼病理・眼疾病	緑内障（3）	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	眼病理・眼疾病	視神経炎（1）								
10	眼病理・眼疾病	視神経炎（2）								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書：視能学第二版（文光堂）										
					担当講師	大原 秀徳				

科目	視能障害学特論			必修	履修学年	2年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	中枢の疾患による麻痺性の斜視について学ぶ。 到達目標：神経眼科を総合的に理解する。									
内 容										
1	ガイダンス	授業ガイダンス	11	核上性麻痺	Parinaud症候群					
2	核上性麻痺	核上性麻痺について	12	核上性麻痺	Double elevator palsy					
3	核上性麻痺	核上性麻痺の種類	13	核上性麻痺	症例ビデオ閲覧と考察					
4	核上性麻痺	注視麻痺	14	核上性麻痺	問題演習					
5	核上性麻痺	共同偏視	15	核上性麻痺	瞳孔の異常とその種類					
6	核上性麻痺	Bell現象と牽引試験	16	核上性麻痺	病的縮瞳					
7	核上性麻痺	MLF症候群	17	核上性麻痺	これまでのまとめ					
8	核上性麻痺	MLF症候群	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	核上性麻痺	垂直注視麻痺の経路								
10	核上性麻痺	//								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書：視能学第二版（文光堂）										
				担当講師		大原 秀徳				

科目	視能訓練学 1			必修	履修学年	1年	授業の方法	講義	時間数	30
目標	視能訓練士として必要な実習技能の座学を行う。座学から実習へとシームレスな知識の連動を目的とする。 到達目標：視力とその検査法を理解する									
内 容										
1	ガイダンス	この授業について	11	実習座学	乱視測定					
2	実習座学	視力検査機器	12	実習座学	乱視測定					
3	実習座学	瞳孔間距離の測り方	13	実習座学	乱視測定					
4	実習座学	裸眼視力	14	実習座学	低視力者の視力検査法					
5	実習座学	レンズの使い方	15	実習座学	近視視力の測定					
6	実習座学	レンズ交換法	16	実習座学	視力検査総合					
7	実習座学	矯正視力	17	実習座学	視力検査総合					
8	実習座学	矯正視力	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	実習座学	円柱レンズの仕組み								
10	実習座学	乱視の種類								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う										
60点以上を合格とし、単位を認める										
再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書：視能学第二版（文光堂）										
				担当講師			大原 秀徳			

科目	視能訓練学Ⅱ			必修	履修学年	2年	授業の方法	講義	時間数	60
目標	視能訓練について学ぶ。基本的な視能訓練法を総合的に学ぶ。 到達目標：訓練の基本を理解する。									
内 容										
1	ガイダンス	この授業について	11	視能訓練	融像訓練（1）					
2	視能訓練	視能訓練とは	12	視能訓練	融像訓練（2）					
3	視能訓練	視能訓練の概念	13	視能訓練	融像訓練（3）					
4	視能訓練	視能訓練の効果	14	視能訓練	融像訓練（4）					
5	視能訓練	視能訓練の種類	15	視能訓練	網膜対応の訓練（1）					
6	視能訓練	抑制除去訓練（1）	16	視能訓練	網膜対応の訓練（2）					
7	視能訓練	抑制除去訓練（2）	17	視能訓練	網膜対応の訓練（3）					
8	視能訓練	抑制除去訓練（3）	18	単位認定試験	試験					
9	視能訓練	大型弱視鏡を用いた訓練（1）								
10	視能訓練	大型弱視鏡を用いた訓練（2）								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書：視能学第二版（文光堂）										
				担当講師	大原 秀徳					

科目	視能訓練学特論			必修	履修学年	3年	授業の方法	実習	時間数	30
目標	国家試験と就職を目前にひかえ、臨床に必要な知識として、視能訓練技術の総合的な理解を深める。 授業の方法:座学 到達目標:国家試験合格									
内 容										
1 授業の目的	国家試験について			11 試験問題演習	国家試験過去問演習		1 0			
2 試験問題演習	国家試験過去問演習		1	12 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 1			
3 試験問題演習	国家試験過去問演習		2	13 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 2			
4 試験問題演習	国家試験過去問演習		3	14 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 3			
5 試験問題演習	国家試験過去問演習		4	15 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 4			
6 試験問題演習	国家試験過去問演習		5	16 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 5			
7 試験問題演習	国家試験過去問演習		6	17 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 6			
8 試験問題演習	国家試験過去問演習		7	18 視能訓練学	国家試験過去問演習		1 7			
9 試験問題演習	国家試験過去問演習		8							
10 試験問題演習	国家試験過去問演習		9							
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書 「視能学 第二版」文光堂刊 ほか										
					担当講師	松浦 理恵				

科目	視能訓練学実習 I			必修	履修学年	1年	授業の方法	実習	時間数	30
目標	臨床に必要な技術として、斜視、弱視の検査と訓練方法の基本を、眼科医院の勤務を経験している教員が実務的な経験を活かし指導し、習得させる。 到達目標:斜視検査や大型弱視鏡などを使いこなせるようになる									
内 容										
1 オリエンテーション	この授業の進め方	11 大型弱視鏡 1	大型弱視鏡の使い方 1							
2 斜視検査の流れ	ヒルシュベルグ法から眼球運動、NPCまで、一連の流れ	12 大型弱視鏡 2	大型弱視鏡の使い方 2							
3 両眼視機能	代表的な立体視検査、TST,TNOなど	13 大型弱視鏡 3	大型弱視鏡の使い方 3							
4 網膜対応検査1	残像ひきとり検査、バゴリーニ	14 大型弱視鏡 4	大型弱視鏡の使い方 4							
5 網膜対応検査2	Worth4灯	15 大型弱視鏡 5	大型弱視鏡の使い方 5							
6 斜視検査1	プリズムの使い方、CT,PCT,APCTなど	16 大型弱視鏡 6	大型弱視鏡の使い方 6							
7 斜視検査2	プリズムによる斜視検査、near,farにて定量	17 総合	まとめ							
8 斜視検査3	プリズム定量、AC/A比の概念、問題演習	18 テスト	前期試験							
9 斜視検査4	4Δ基底外方試験、プリズム定量									
10 斜視検査5	プリズム定量									
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書 「視能学 第二版」文光堂刊 「視能訓練学」医学書院刊 ほか										
						担当講師	松浦 理恵			

科目	視能訓練学実習Ⅱ		必修	履修学年	2年	授業の方法	実習	時間数	60
目標	視覚発達の促進や種々の視能障害に対する矯正訓練、指導及び管理の立場にあつて必要な知識と技術を指導する。また感染症に対する対応と救急対応についても、眼科クリニックに勤務経験のある教員が実務経験に基づき指導する。								
内 容									
1 検査学専門分野	実習の目的の再確認 ・病院での眼科その中での役割 ・検査の目的、ORTの役割、立場		10 検査学専門分野	・乳児の偽斜視のこと ・眼位の方向差と眼球運動 ・角膜反射による9方向眼位の検査法 ・単眼の眼球運動制限の観					
2 検査学専門分野	・検査と疾患の関連性 アムスウー、VF、VA、調節力 ・後期の実習方向性グループ決め、実習ノートの説明と解説		11 検査学専門分野	VTR「膜プリズム眼鏡作製のポイント」「眼位検査」 ハイディングーブラシ コーディネイトール					
3 検査学専門分野	実習 各グループの予定に従い行う Aチーム VA、遮閉試験、AC/A比、Maddox正切尺と小 Bチーム		12 検査学専門分野	各グループにわかれ実習 (内容)V. A, Synopto, Hess, プリズム, コージナトール, カイロスコープ, 実体鏡					
4 検査学専門分野	固視交代可能 プリズムによる斜視角測定法		13 検査学専門分野	各グループにわかれ実習 (内容)V. A, Synopto, Hess, プリズム, コージナトール, カイロスコープ, 実体鏡					
5 検査学専門分野	斜視角の大きい症例→プリズムを分ける法 カバーテスト カバーアンカバーテスト 交替カバーテストの適応		14 検査学専門分野	実習前に各グループで目的を明確にし、発表後実習へ (内容)V. A, Synopto, Hess, プリズム, コージナトール, カイロス					
6 検査学専門分野	方法 Cover-uncover test alfer mate cover test		15 検査学専門分野	実習前に各グループで目的を明確にし、発表後実習へ (内容)V. A, Synopto, Hess, プリズム, コージナトール, カイロス					
7 検査学専門分野	cover testのポイント講議 斜視の頻度と輻湊検査		16 検査学専門分野	実習前に各グループで実習内容を記す。発表後各グループへアドバイ					
8 検査学専門分野	輻湊の検査→輻湊近点測定の方法 Vergence -covuergence -divergence		17 検査学専門分野	実習前に各グループで実習内容を記す。発表後各グループへアドバイ 実習 実技をみながら直接指導					
9 検査学専門分野	輻湊の検査→①光とペンを用いる方法 [衝動的な動きをみる] ②三点カード [調節性輻湊をポイントにみる]		18 テスト	前期単位認定試験					
評 価									
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある									
教 材									
教科書 「視能学 第二版」文光堂刊 「視能訓練学」医学書院刊 ほか									
担当講師						松浦 理恵			

科目	視能訓練学実習Ⅱ			必修	履修学年	2年	授業の方法	実習	時間数	60
目標	特殊検査実習を行う。 到達目標：眼科検査技術の取得									
内 容										
1	ガイダンス	この授業について	11	眼科検査	眼底検査 1					
2	眼科検査	HESS眼球運動検査 1	12	眼科検査	眼底検査 2					
3	眼科検査	HESS眼球運動検査 2	13	眼科検査	OCT検査 1					
4	眼科検査	HESS眼球運動検査 3	14	眼科検査	OCT検査 2					
5	眼科検査	HESS眼球運動検査 4	15	眼科検査	OCT検査 3					
6	眼科検査	超音波検査1	16	眼科検査	これまでのまとめ					
7	眼科検査	超音波検査2	17	眼科検査	総合問題演習					
8	眼科検査	超音波検査3	18	単位認定試験	単位認定試験					
9	眼科検査	超音波検査4								
10	眼科検査	超音波検査5								
評 価										
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある										
教 材										
教科書：視能学第二版（文光堂）										
				担当講師	大原 秀徳					

科目	視能訓練学実習総合		必修	履修学年	3年	授業の方法	実習	時間数	30
目標	臨床に必要な技術として、病院実習を想定した総合復習を行う。毎回の範囲は実務経験に基づいて、重要な検査項目を主体に技術を高めるよう指導する。 到達目標: 臨床現場で対応できる技能の取得								
内 容									
1 病院実習模擬演習	この授業の進め方	11 病院実習模擬演習	シノプト 大型弱視鏡の基本的な使い方 1						
2 病院実習模擬演習	ヒルシュベルグ法から眼球運動、NPCまで、一連の流れ	12 病院実習模擬演習	シノプト 大型弱視鏡の基本的な使い方 2						
3 病院実習模擬演習	両眼視機能検査 代表的な立体視検査、TST,TNOなど	13 病院実習模擬演習	シノプト 大型弱視鏡の基本的な使い方 3						
4 病院実習模擬演習	両眼視機能検査 残像ひきとり検査、バゴリーニなど	14 病院実習模擬演習	シノプト 大型弱視鏡の基本的な使い方 4						
5 病院実習模擬演習	両眼視機能検査 Worth4灯	15 病院実習模擬演習	シノプト 大型弱視鏡の基本的な使い方 5						
6 病院実習模擬演習	斜視検査 プリズムの使い方、CT,PCT,APCTなど	16 病院実習模擬演習	シノプト 大型弱視鏡の基本的な使い方 6						
7 病院実習模擬演習	プリズムによる斜視検査、near,farにて定量	17 テスト	総合テスト 1						
8 病院実習模擬演習	斜視検査 プリズム定量、AC/A比の概念、問題演習	18 テスト	総合テスト 2						
9 病院実習模擬演習	斜視検査 4Δ基底外方試験、プリズム定量								
10 病院実習模擬演習	斜視検査 プリズム定量								
評 価									
出席が規定日数を満たしているものに期末試験を行う 60点以上を合格とし、単位を認める 再試験・追試験を行うことがある									
教 材									
教科書 「視能学 第二版」文光堂刊 「視能検査学」医学書院刊 ほか									
					担当講師		松浦 理恵		